

アレルギー性鼻炎・花粉症のレーザー治療

鼻粘膜をレーザーで焼灼することにより、鼻粘膜の状態を改善させ症状の軽減をはかる治療になります。治療前の麻酔時間を含めて所用時間は45～60分程度です。健康保険の適応が認められていて、3割負担で1回1万円前後です。

7～8割の方に改善効果がみられるといわれていますが効果には個人差があります。また鼻症状の軽減をはかる治療で永久的に鼻症状をなくす治療ではありません。効果の持続は個人差もありますが6か月～2年ほどになります。

<治療対象となる方>

慢性的に鼻水、くしゃみ、鼻づまりが強く、継続的に規則正しくお薬を飲んでいても効果が見られない方。

花粉症シーズンに症状がひどくてつらい方。

妊娠を予定している方、お薬が飲めない方

*お子さんは小学生中学年(8歳くらい)から可能です。

●治療時期

寒くて乾燥する時期や花粉の飛散時期など鼻炎の症状が強く出ているときには、レーザー治療により更に症状が悪化する可能性があるため、5月～11月の間に行います。

●治療の流れ

まず診察をうけてレーザー治療を行ったほうがよいのか、またいつ行うかを相談します。レーザー治療は予約制で原則平日にさせていただきます。

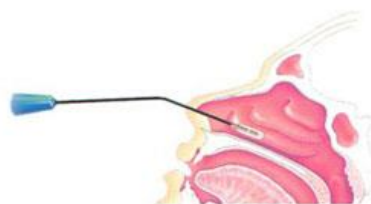
予約日が決まったら当日は以下の流れになります。術前は体調を整えてご来院ください。

① 局所麻酔

鼻の粘膜に麻酔液を浸したガーゼをいれて15～30分ほど待機します。

② レーザー治療

内視鏡を使って鼻の粘膜をレーザーで焼灼します。治療時間は片側5分、両側で10分程度です。術中の出血や痛みをほとんどありません。終了後10分ほど待機して問題なければ帰宅となります。



●術後の診察

術後当日は飲酒、入浴、激しい運動は控えましょう。

術後2週間くらいは、鼻の粘膜にかさぶたがついたりしますので、週に2～3回ほど鼻の掃除をします。